

第36号

浜かいどう通信

＝ 発行 ＝

一般社団法人 茶道裏千家淡交会いわき支部
〒971-8172
福島県いわき市泉玉露3-13-15
伊東宗恭方
TEL・FAX 0246-96-5232

＝ 編集 ＝

総務委員会



令和五年二月二十六日、第二十九回定期総会がいわき市文化センター大ホールにおいて、一〇〇名の参加のもと執り行われました。
新型コロナウイルス感染症対策から三回目の開催となりましたが、入口に設けられた床

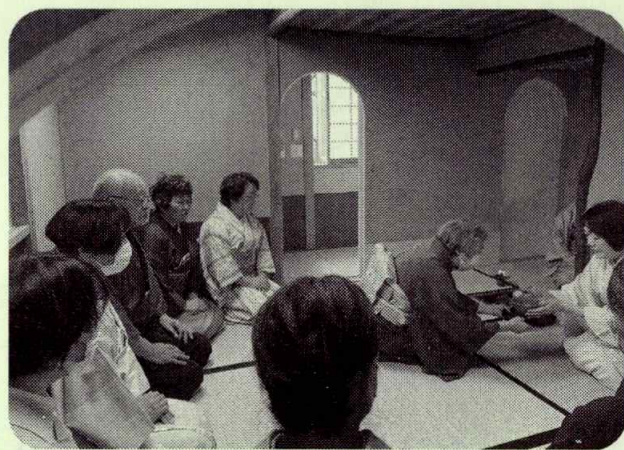
第二十九回 定期総会報告

総務委員会 山内宗由

には、坐忘齋お家元筆の「松無古今色」が掛けられ、蒲池窯のうさぎ香合、雪柳と薄桃色の有楽椿が織部花入れに生けられ、一足早い春の趣で参加者を出迎えました。
開催にあたっては、総会資料の「式次第」に基づき進行され、淡交会の歌、利休道歌の唱和、「ことば」の唱和は、新型コロナウイルス感染症対策の為、声を出さずに行われました。
はじめに、伊藤博人支部長より、昨年はロシアのウクライナ侵攻で世界中が翻弄され、我が国においては、これまでにない円安、物価高に見舞われ、当支部においても三月十六日の福島沖震度6強地震で



新地町、相馬市、南相馬市において甚大な被害があり、被災された方々がおられ、心からお見舞い申し上げます。共に、一日も早い復旧復興を願っている」と述べられました。
それから、令和四年三月二十八日、今日庵 名誉師範親授式において、坐忘齋お家元より、佐藤宗香先生と船生宗



中ではありがたいことに毎年茶会の経験をさせてもらう機会があるため、皆自分が何をすればいいかわかっており、今回も柔軟に対応してスムーズにお茶会を進められたと思います。
今回は石川県小松市の「行松旭松堂」さんの「辻占」というお菓子をお土産にご用意いたしました。お菓子の中に小さな占いの紙が入っており、それが結構当たり皆1年間持つ

ホームページ開設のお知らせ



この度、裏千家淡交会いわき支部のホームページを開設しました。ホームページアドレスは、<https://www.tankokai-iwaki.com/>になります。

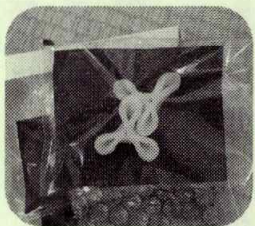
お手持ちのスマートフォンやパソコンから探す場合は、グーグルクロムやヤフーなどの検索画面に「淡交会いわき支部」と入力し検索してください。

QRコードで読み取り可能な方は、以下のQRコードを読み取ることでホームページをご覧ください。



※各行事において、撮影した写真をホームページに掲載させていただきます。ご了承ください。不都合の方は、ご面倒お掛け致しますが、総務委員長 鈴木宗恵までお申し出いただけますようお願い致します。

ているということも前日に行松さんからお聞きしたので、そのことも含めて説明したところ、皆さま開けるのを楽しみにお待ちになりました。
一部の方々には長時間お待たせしてしまい申し訳ありませんでした。百名弱のお客様をお迎えし、十席を無事終えることが出来ました。足を



お運びくださった皆様、本当にありがとうございました。

祝 名誉師範拝受

この度、令和五年三月二十八日に、今日庵において、坐忘齋お家元様より渡邊宗達先生が名誉師範を拝受されました。永年にわたる裏千家茶道と淡交会の充実発展のためのご活躍の賜物と存じます。誠にありがとうございます。

月釜茶会を
担当して
みませんか？

いわき市生涯学習プラザの茶室にて会員および一般の方に裏千家茶道を普及することを目的としています。
茶道裏千家淡交会いわき支部の複数の社中が合同で実施することも可能です。
お申込み及びお問い合わせは総務委員会事業担当 (清水宗洋 TEL0246-96-5232) まで

編集後記

今年、桜の開花も早く明るい兆しが見えてまいりました。これから、支部の各行事が催されます。皆様と共に良い情報を発信していきたいと思っております。どうぞ、宜しく願います。

月釜年の瀬茶会

山野邊 宗 節

令和四年十二月十八日(日)この日だけはと願って居りました天候にも恵まれ、伊藤支部長様、幹事長様、会員の皆様の御参加を頂き茶会は行われました。

私が喜寿を迎え、お家元様より「ひさご火入」頂戴しました事とあわせて延びておりました、月釜茶会、社中全員で開催を決意しました。

当日時刻より早めに開始。一席が始まり、お席案内の気転よろしく、八畳茶室に八人、十一席の茶会となりました。ひさご火入を文箱煙草盆に、床「歳月不待人」香合「くず屋」花は椿にきささげを添え「伊賀耳付花入」棗「沈金菊桐」茶杓は師より頂いた「萬重の関」、禅語「直



透萬重関不住青香裡」より銘名され、師の常々の教えでありました。私の茶道の道しるべでもあり心深く感しておる言葉で今回は師に見守られてのお席となりました。茶碗は私の収集したのを沢山準備し、お客様に楽しんで頂けたかなと思っております。お正客様

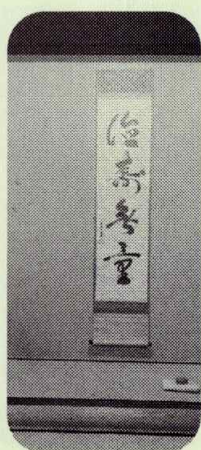
二月 月釜茶会

矢内宗里社中

菅 本 健 一

二月十二日に市生涯学習プラザの茶室で、矢内宗里社中担当の月釜茶会が行われました。

テーマは「早春」。矢内宗



里の喜寿と昨年一月の東京初釜式で坐忘齋お家元から進呈された茶碗「梅の窓」のお披露目を兼ねました。

お席では、主茶碗の「梅の窓」やその他お道具、お菓子そして床の間にかけられた大宗匠筆のお軸などの説明に耳を傾けながら、皆さま和気あいあいとお薄を味わっていたようです。

コロナウィルス対策として一席八人としていましたが、嬉しい誤算で二席目途中の段階で七席目迄埋まってしまい、一席の回転を上げないとお客様をお待たせしてしまうという事で、一席を十人にして拝見も多人数一緒に見てもらい、お点前・説明も速くして時間短縮が出来ました。当社



敏先生が名誉師範を拝受され、多数ある支部のなかで当支部から二名が拝受されたことは、大変誇らしいことであり、この功績を称えられ祝福されました。

最後に、年々会員が減少傾向にあるが、会員の入会を推進し、若い方々には青年部に入会していただき、役員と会員が一丸となり「いきいきと楽しく活動できる淡交会にしていきましょう。」とのご挨拶をいただきました。



次に、伊東宗恭幹事長より、日頃の支部活動への支援、協力に対して感謝が述べられ、今年はお家元指導方針の一つでもありますデジタル化の推進について、ホームページを開設し広くお茶に関心のある方々に、支部の活動状況等を自由に検索して、お茶に関心をもっていただくきっかけづくりや、メール活用による事務連絡等のスピード向上や簡略化、ペーパーレス化に取り組みで行きたいと述べられました。

議事に先立ちまして、議長に鈴木宗孝様を選出され、書記に佐藤宗由様、野崎宗里様に、議事録署名人に大和田宗由様、佐藤宗玲様が指名されました。議案である、令和四年度事業報告、令和四年度会計収支決算報告、監査報告がされ、令和五年度事業計画(案)、令和五年度会計収支予算(案)が審議され、いずれも満場一致で承認可決されました。

議事終了後、共済会、学校茶道連絡協議会からの報告、青年部からは、令和四年度の事業報告並びに令和五年度事業報告案が報告されました。続いて、支部長のご挨拶でも紹介されました、名誉師範拝受者 佐藤宗香様 船生宗敏様のご披露と花束が贈呈されました。お二方より、これまでのお茶に対する想いや、拝受にあたっての感謝のお気持ちなどが述べられ心温まる一場面となりました。



最後に、令和四年度の会員表彰が行われ、特別表彰に猪狩宗静様、志賀宗園様が、継続会員表彰に甲斐宗範様、亀田宗邦様、小林宗恵様、佐藤宗恵様、鈴木カツ様、高田宗啓様、館野宗睦様、坪井アイ子様、永山宗玉様、松山宗輝様、山田宗恵様が表彰され、支部長より表彰状と記念品が贈られました。

会員皆様のご協力のもと、無事に令和五年度定期総会が終了し、参加者の皆様には、お弁当とお茶を持ち帰りいただきました。